

コミックマーケットへ

ようこそ

準備するから準備会

おーちようこ

監修 コミックマーケット準備会

コミケは誰が支えている？

知られざる裏方

準備会を
完全紹介！！

コミケット
Friendship Forever

omiket★

コミックマーケットへようこそ

準備するから準備会

監修

コミックマーケット準備会
おーちようこ

星海社

243



SEIKAISHA
SHINSHO

はじめに　これは、いち新人スタッフの「驚き」がつまった一冊です

3年前。

割れんばかりの拍手のなか、泣きそうになるのをこらえていました。

場所は初めて足を踏み入れた東京ビッグサイト会議棟の、1000人は収容できるという国際会議場の隅っこの席。コミックマーケット準備会、スタッフ全体集会でのこと。

その少し前。

観劇仲間がまさかのコミケスタッフをやっていると知り、興味津々で話を聞いたなら「楽しいよ」との言葉。そういうえば、コミケは学生時代に初めて行って以来、現在に至るまで、ゆるく参加はしているけれど、即売会側のスタッフをやる、という発想はなかったなあ、と思いつ立ち。知ってるつもりで実はなんにも知らないかも、ずっと遊ばせてもらっているから今からでも役に立てることはあるかしら、年に2回のお祭り騒ぎの舞台裏も気になるなあ……と、スタッフ登録へ。その年、コミケは史上初の4日間開催でのべ参加者75万人

を数える、世界有数のイベントへと成長していました。すごい。

果たして、その日から、コミケのすごさに驚き続けることになるのです。

全体集会の前に開かれる新人集会で渡された組織図（第1章参照）に「企業みたいだ！」と驚き。

各責任者が紹介する、部署の果たす役割と充実っぷりに驚き。

スタッフ数、3000人以上という規模に驚き。

3000人で75万人もの参加者を迎えている、という事実^に驚き。

全員がボランティアなこと^に驚き……と、新たな知識がどかどかと上書きされ、つまりは、ずっと驚いていたわけですが。怒濤^{どとう}の新人向けの説明会の後には全体集会有ること^で、おっかなびっくり国際会議場へ移動。そこには先輩スタッフの皆さんも集まり、みるみる座席が埋まっていき……壮観だなあと、これまた驚き。

その冒頭。

準備会の共同代表が言いました。

「今日、初めてスタッフ登録をしてくれた人、挙手！」

「？」と思いつつ、そつと手を挙げる——と、「みんな、拍手！」の声。

とたんに沸き起こる、「わっ」という歓声と大きな大きな大きな、拍手。

ぽかんとしながらも、それが、そこここに座り挙手する新人スタッフ……私たちに向けられたものなのだ、と頭が理解した瞬間、ぶわつとこみ上げるものがあり。眼から涙があふれそうになるのを奥歯を噛みしめ耐えました。未だにあれがどういふ感情だったのかはわからないのですが、この日、なんだかとてもない場所に来てしまつて、とてもすてきなものをもらつてしまつたな、ということだけは今も折にふれ思い出すのです。

スタッフ活動を始めてからも、驚きは続きます。

コミケの理念、所属部署の意義といった、部署での新人勉強会や開催に向けての準備の数々にふれるうち「このすごさを、記録として残したい……」と思うようになりました。ですが、いち新人スタッフとしては、なにをどうしていいのか皆目見当がつかず。ただ、執筆業なので「形にするなら本かなあ」と、自著『2・5次元舞台へようこそ』『大衆演劇へようこそ』を出す機会をいただいた、編集者にして星海社代表取締役社長の太田克史氏おおかた かつしに相談したところ、実は故・米澤嘉博代表よねざわ よしひろにコミケの新書を打診されていた、というでは

ないですか。けれど当時、公表されてはいませんでしたが、すでに米澤代表は闘病中で話
は宙に浮き。今も心残りではある、という話を聞き。

これもきつと縁だから、当たって砕ける、星海社新書として企画書を先方に出そうじゃ
ないか……と動き出したのが2年前。ありがたいことに砕けなかったんですね、これが。

当然、私でいいのか？ もっと詳しく、ふさわしい人がいるのでは？ と迷わなかつ
たわけではありません。ですが、その逡巡しゆんじゆんを打ち明けたときに共同代表は言いました。

「企画を立てて版元を連れてきたのは、おーちさんなんだから。胸を張って書けばいいよ」
書ける、と信用してもらえたことにどれほどの勇気ももらったことか。

その後、未曾有みそいうのコロナ禍によるコミケの中止や延期を受けながらも本書刊行に向け、
たくさんのお力添えをいただきました。この一冊には、新人スタッフから見た、コミケの
すごさがつまっています。これがすべてではありませんが、まちがいなく「今」のコミッ
クマーケット準備会とスタッフの姿です。

みんなが楽しく過ごす場を守り続けるスタッフの声を、僭越せんえつながら、届けます。

目次

はじめに 3

第1章 コミケと呼ばれて、愛されて

コミックマーケットとは 13

第2章 コミケの本部について 23

本部系（総本部事務） 24

放送部 31

庶務担当 38

取材・マスコミ対応 46

第 3 章 コミケの全組織紹介

53

記録班 54

更衣室担当 102

国際部 63

公共地区担当 110

搬入部 72

受付販売担当 118

場外販売担当 79

企業対応部 126

場外救護担当 87

館内担当 134

入口担当 94

救護室担当 142

第 4 章 コミケの開催までと開催してから

151

事前事務 152

参加サークルの配置 157

資材部 163

スタッフ駐車券 168

第
5
章

コミケとともに歩む企業・団体

187

スタッフ合宿 172

設営部 177

見本誌のゆくえ 184

米沢嘉博記念図書館・現代マンガ図書館 188

同人総合ポータルサイト Circle.ms 〔サークル・ドット・ト・エム・エス〕 196

同人誌印刷会社から ねこのしっぽ・しまや出版 202

便利社 213

りんかい線 221

日本赤十字社 229

公益財団法人 森林文化協会 235

東洋相互警備保障 241

東京ビッグサイト 247

第 6 章 共同代表の長い3日間 255

8月11日(祝・木) 256

8月12日(金) 257

8月13日(土) 262

8月14日(日) 265

第 7 章 コミケの危機 269

1991年 会場が借りられない!? 270

1998年 「ホールから火が出てる!?!」 273

2006年 米沢嘉博代表、逝く 275

2012年 漫画『黒子のバスケ』脅迫事件 278

2016年 TPP(環太平洋パートナーシップ協定) 281

2020~21年 東京オリンピック・パラリンピックとコロナ禍という課題 284

第
8
章
共同代表鼎談

開催100回を終え、3年後、50周年にむけて

291

おわりに
311

第1章

コミケと呼ばれて、愛されて
コミックマーケットとは

「コミックマーケット」の名前を聞いたことがあるだろうか。

「コミケット」あるいは「コミケ」とも略称される、同人誌を中心とする自費出版物の展示即売会である。主催は有志の任意団体コミックマーケット準備会で、実に3000人からのボランティアスタッフによって運営されている日本最大級のイベントだ。

第1回コミックマーケット（各回のコミケは、その回数をXXとおいて、CXXと表記されるのが一般的だ。つまり、第1回はC1となる。以下、本書も同様）は1975年12月、虎ノ門にある旧日本消防会館（1980年解体）の会議室で開催された。創作物を頒布する同好のグループ、通称「サークル」の参加数は32、参加人数は700人ほどだった。当初は春・夏・冬の年3回開催だったが、回を重ねるごとに大きくなる規模に運営が追いつかず、1984年以降は夏と冬の年2回を基本とした開催となっている。規模の拡大に合わせて転々とした開催場所は、1981年のC19の際に晴海埠頭はるみぶとうにあった東京国際見本市会場に移転。その後も紆余曲折うよきよくせつはあったものの、1986年のC31からは恒常的に2日間開催し、1991年のC41には全7館を使用するまでに成長した。

この間、会場の契約や警備会社の導入といった外部取引の増加や、警察・消防署への届け出のために法人化を求められ、1985年には準備会をサポートするための組織として、

株式会社コミケットを設立した（1996年に有限会社コミケットに改組）。なお「コミックマーケット」、「コミケット」、「コミケ」は有限会社コミケット（以下、有コミ）の登録商標でもある。準備会は、元々マンガ評論サークルである批評集団「迷宮」を母体として誕生し、はらた原田央男氏が初代代表であったが、1980年から2代目代表にしてマンガ評論家でもあった、てるお米澤嘉博氏（ペンネームは米沢を使用していたため、本書では以下、米沢を使用）が就任。以後、準備会の中心となる。

その後、東京国際見本市会場の老朽化等の理由から、後継となる東京国際展示場（東京ビッグサイト）が1996年に誕生。コミケもこの夏のC50より晴海から臨海副都心へと開催の場を移す。1997年のC52以降夏が恒常的に3日間開催となり、2002年のC63以降は可能な限り冬の開催も3日間となった（2006年のC71からおおみそか大晦日を含めた3日間開催が常態化）。

長年親しんだ晴海会場とのお別れとして1996年春に開いた『さよなら晴海!!コミケットスペシャル』をきっかけに、2000年から5年に一度の春に、大きくなりすぎた夏の冬のコミケットではできないことを実験的にやるイベント、コミケットスペシャルも継続的に開催。沖縄での地方開催（2000年）、ビッグサイトを24時間使い倒す、コミケでまち

おこし、コミケで国際交流、と毎回異なるテーマに挑んできた。

2006年、米沢氏逝去に伴い、かねてより準備会の中心となりコミケを支えていた、安田かほる、筆谷芳行、市川孝一の3人が共同代表として3代目を担うこととなった（開催回としてはC71から）。そして、2022年夏、記念すべきC100の開催を迎えることに。

その3年前。日本が未曾有の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）（以下、コロナ）の猛威に見舞われる前……2019年、東京オリンピックによるビッグサイトの利用制約による面積減という要因はあるものの、コミケ史上初となる4日間開催となった8月のC96では一般参加者含む来場者数のべ73万人、12月のC97ではのべ75万人もの参加者を記録。数多の才能を育む「創作のゆりかご」として、そして世界有数の同人誌即売会として広く知られることとなる。

そのコミックマーケットが掲げている理念がある。

- コミックマーケットは同人誌を中心としてすべての表現者を許容し継続することを目的とした表現の可能性を広げる為の「場」である

・コミックマーケットは、サークル参加者、一般参加者、スタッフ参加者、企業参加者等全ての参加者の相互協力よって運営される「場」であると自らを規定し、これを遵守する

・コミックマーケットは、法令と最低限の運営ルールに違反しない限り、一人でも多くの表現者を受け入れる事を目標とする

・コミックマーケットは、全ての参加者に取って「ハレの日」であることを願い、継続を最大の役割として行動する

記したとおり、表現の「場」としての意義と継続を掲げ、「創作のゆりかご」として成長するコミケは現在も愛され続けている。

2004年には、イタリアのヴェネツィアで開催されている世界的な現代芸術の祭典、ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展の第9回「おたく…人格Ⅱ空間Ⅱ都市」展（キュレーター…森川嘉一郎・現明治大学国際日本学部准教授）でモチーフのひとつとなり、世界でも注目されることに。秋葉原の街並みや「おたく」と称される人々の部屋のミニチュアとともに、コミ

ケ会場のレイアウト模型も作られ、「おたく文化の大規模な祭典」として紹介された。この模型の一部は現在、故・米沢氏の名前を冠した米沢嘉博記念図書館（第5章）で常設展示されている。

2019年にはイギリスはロンドンの大英博物館で開催された、大規模なマンガ展「The Citi exhibition Manga」（キュレーター：ニコル・クーリッジ・ルマネール・現セインズベリー日本藝術研究所リサーチディレクター）に準備会として全面協力。日本が誇る数多くのマンガ作品の紹介とともに、マンガのファンや社会との関わりがテーマとなる「マンガのちから（Power of Manga）」のパートにおいて、同人誌やコミケカタログの展示等も行われた。館内では、コミケという空間に集う様々な参加者がにぎやかに交流するC95の会場の映像も流され、「場」としてのコミケの存在を伝えることとなった。

そんなコミケを運営する、「コミックマーケット準備会」の組織について紹介しよう。

32サークル、700人の参加者からスタートしたコミケは、「場」に魅せられた者たちを惹きつけ大きくなった。「場」を用意する準備会も、必要に応じて様々な部署を生み出し、しなやかに変化を繰り返し、成長を続けている。

まるで企業のような組織図は次のページで見してほしい。

そして、この組織はすべてボランティアスタッフによって運営されている——C1より揺るがない、この事実に変更して感じ入る。

彼らが一丸となって挑んだ2021年末のC99では、感染症対策として日本政府が定めるワクチン・検査パッケージの技術実証に加わり、参加イベントとして最大規模を記録。2022年夏のC100の開催を無事に終え、次回C101の開催、その先にある2025年の50周年開催に向け、今この瞬間も準備を続けている。準備会では「事前8割、当日2割」という言葉がよく使われるが、これはまさに準備会のすべてを物語っている。次の章からはそこに集うスタッフを代表して、各部署を取りまとめる責任者や総統括による紹介をお届けしたい。



コミックマーケット公式サイトへようこそ！

共同代表 …… 全体的な調整と意思決定

本部系

- 本部事務 …… 公的機関、会場、警備会社対応と全体的調整
- 放送部 …… 場内放送
- 庶務担当 …… お弁当等各部署のバックアップ対応
- 取材・マスコミ対応 …… マスメディアへの対応
- 会計 …… 会計処理

記録班 …… コミケットの公式記録

国際部 …… 海外参加者・海外メディア担当

搬入部 …… 搬入車両の管理と印刷会社対応

場外販売担当 …… 会場外での検温、消毒、リストバンド型参加証の交換

場外救護担当 …… 主に会場外での傷病者の応急処置と救護室への搬送

入口担当 …… 会場外での参加者対応・誘導・安全管理・部外者対応

更衣室担当 …… 更衣室の運営・誘導・安全管理

公共地区担当 …… 公共エリアでの参加者対応・誘導・安全管理

受付販売担当 …… 準備会販売物の販売とインフォメーション、遺失物管理

企業対応部 …… 企業ブース・画材・食品・宅配等の企業対応、
防災フェアの運営

館内担当 …… 主に会場内の参加者対応と安全管理、サークル受付

救護室担当 …… 傷病者の応急処置と救急搬送の手配

コミックマーケット準備会の組織図

準備会スタッフへ ようこそ！

コミケに興味はあるけれど、スタッフになるにはどうしたらいいの？ と思った人は、公式サイトにアクセスしてほしい。次回開催に向けた説明会の日程や参加条件とともに、コミケ開催に向けた熱い思いが伝わっている。

そう、準備会はいつだって、一緒になって本気で遊ぶ〈仲間〉を求めているのだ。

コ ラ ム

Column

第
2
章

コミケの本部について

コミックマーケット準備会は16の部署から構成されている。

まずは、3人の共同代表の直属である「本部系」「庶務担当」「取材・マスコミ対応」「会計」の4部署。さらに公式記録を残す「記録班」と外国語対応をすべて請け負う「国際部」の2部署が属する。一方で、主に会場の外まわりを担当する「搬入部」「場外販売担当」「場外救護担当」「入口担当」の4部署。主に会場内で対応する「更衣室担当」「公共地区担当」「受付販売担当」「企業対応部」「館内担当」「救護室担当」の6部署が存在する。

それぞれの部署に責任者、あるいは総統括と呼ばれる取りまとめ役がいて、3000人からのボランティアスタッフとコミケ開催に向け、日々活動している——まるでちょっとした企業のようなのだ。

そのなかから、ここでは共同代表のもとで活動する部署と、本部系のなかで独自の仕事をしている「放送部」を紹介したい。

本部系

(総本部事務)

——
今、コミケがちゃんとまわっているか？
を確認するハブ機能

話を伺ったのは、コミケ開催時にはビッグサイト内に設けられる総本部に詰めているという、総本部事務長と総本部事務長補佐のおふたり。総本部事務長はC74（08年）から、総本部事務長補佐はC62（02年）からスタツフ参加。いろいろな部署を経験したのち、現在は総本部を支えている。本部系は「総本部事務」のほか、総本部の来訪者対応を行う「総本部受付」や総本部以外の場所で総本部事務と同じ役割を担う「総本部分室」、会場内の放送を行う「放送部」といった機能がある。

総本部事務の主な業務は、コミケ開催当日に次々とあがってくる情報の共有と精査。すべての部署が一齐に動くなか、参加者の誘導はスムーズに行われているか、準備は滞りなく進んでいるか、トラブルは起こっていないか、といった様々な報告を吸収し、各部署へ調整・相談し、ときに共同代表の判断を仰ぐ。常に、まさかの事態が起こったときのための情報の取り回しを行う。つまり、各部署をつなぐハブ。

総本部事務長（以下、事務長） 所属は総本部のなかの総本部事務という役割のメンバーになります。

総本部のトップである共同代表の下に総本部事務のメンバーがいて、開催に向けた事前の計画を受け、全部署から届く情報系を把握して管理する……という感じでしょうか。

もっと大枠でいうと「今、コミックマーケットがちゃんとまわっているか？」を確認しているのが、いちばん大きな役割、と理解しています。

総本部事務長補佐（以下、補佐） 各部署は当日に向けて、それぞれがしつかりやっつけてくださっているので、なにかあったら情報はあげてくれ、と。それらを受けて、対応の検討をしたり、共同代表に相談したりするのが我々です。

事務長 なんだろう……たとえるなら事務次官みたいな感じでしょうか。ただ、すべての情報を統括するといった、だいそれたことはしていません。

なにかあったときに対外的に話をしたり、全体的に調整するために各部署から必要な情報を出していただいている、という感じですよ。

語るとおり扱う内容は幅広く、多岐にわたる。たとえば天候による導線や時間帯の変更といった内部のものから、外部からの電話の問い合わせまで対応する。

補佐 たとえば、「コミックマーケットについて知りたい」という方がいたとして、取材したいのか、それとも遊びに來たいのかによって回答が異なりますよね。ほかにも「落とし物・忘れ物に気づいた」という外からの問い合わせが多いですね。なので、それらも総本部で一旦対応して、部署に引き継いだりします。

——一方で、大変だったことは？

事務長 ……ありすぎて……（笑）。

補佐 そもそも我々の部署って大変じゃないのがいちばんいいんですよね。

事務長 ただ、やっぱり、なにかあったときにいちばん大変なのは現場です。なので、まずは現場の判断を尊重し、そのためになにか必要か、どういった方法があるか、を提示します。そのうえで現場の最終決定を教えてもらい、共同代表に伝える。これを速やかに行うことが大切だと考えています。

——それぞれが心がけていることはなんだろう。

事務長　ひとつの情報から得られるものを正確に判断する、ということでしょうか。本部系に入る前に4部署ほどでスタッフを経験しましたが、担当部署によって現場の空気感や視点がちがうんです。

館内担当だったところに、不審物の巡回時に落ちていた髪の毛について「これは不審物か？ 事件か？」と考えたんですが、更衣室担当は「コスプレイヤーがここで髪を切ったのかな？」と判断して、そうか！ となったんです。同じ現象でも部署によっていろんな捉えかたがあることが発見で、経験を重ねることで判断の幅も広がると学びました。なので、本部にあがってくる情報に対しても、いろいろな見方ができるようにしたいし、どう捉えるかを意識していきます。

補佐　僕は横のつながり、人間関係を大切にしています。

当日はいろんな部署の責任者の方や担当者にご連絡するんですが、やっぱり動く人数が多い

ので、事前の打ち合わせと当日の状況が変わってしまうことがある。そこに対して、どうしても通常業務から外れたところで「これをやってほしい」という依頼をすることがあるんです。そういうときに「まあ、しょうがないな。やるか」と思ってもらえるような関係を——今はコロナでちょっと難しいんですが——実際に会って築いていくことを心がけています。

——最後に、自身にとってのコミケとはなにか、を伺った。

事務長 いちばんイメージが近い言葉は「一生続けられる部活動」です。大変なこともあるけれど、振り返って、なんであんなにがんばれたのかな？ っと思うと、やっぱり楽しかったから、なんですすよね。

だからもしスタッフをやってみたいという人がいたら、まずは飛び込んで、いろんな部署を見て、居心地のいいところを見つけてほしい。人と人が出会って交流することも準備会の準備だと思うので、いい人と巡り合って、楽しい部活を一緒にやっていきましょう。

補佐 小さいころからゲームとかアニメとかが好きで、マンガも読んでいますが、こんなに造そう

詣^{けい}深く話せる人たちがいっぱいいるところって他になくなつて。

事前の準備をわいわいやっていたら、当日、すぐくたくさんの人たちが来て、楽しんでくれて、終わったらめちやくちや疲れて泥のように眠る、っていうのがとても心地よくて楽しいです。それにつきます！

第
5
章

コミケとともに歩む企業・団体

米沢嘉博記念図書館・

現代マンガ図書館

蔵書数41万冊、コミケ同人誌の
閲覧もできる、唯一無二の存在だ

明治大学駿河台キャンパスには前コミックマーケット代表にして漫画評論家の、故・米沢嘉博氏の名前を掲げた、マンガ専門の図書館がある。2006年の氏の逝去後、マンガ雑誌、単行本、マンガ情報誌、同人誌、風俗系雑誌、アニメ誌など14万冊ものコレクションを受け入れ、2009年に「米沢嘉博記念図書館」が誕生。

一方、個人でマンガ文化を守るべく収集、貸本業から発展した故・内記稔夫氏の「現代マンガ図書館」のマンガ本27万冊も明治大学は受け入れ、窓口を一体化。2021年3月から「米沢嘉博記念図書館・現代マンガ図書館」として稼働。寄贈された累計冊数は実に41万冊！これらの蔵書は、駿河台キャンパス裏手に建つ図書館のビルに加え、近隣の2つの書庫との計3ヶ所で管理されている。現在、司書として運営に関わり、2019年9月、「紙資料から見るコミックマーケット展」も企画した、三崎絵美さんにお話を伺った。



アーカイブ「紙資料から見るコミックマーケット展」

予約不要で公開されている1階展示室は、年3回展示が変わる企画展を開催。2階は閲覧室で、約4500冊ものマンガ雑誌や単行本が自由に楽しめる有料の閲覧室。実はここに収められていなくとも図書館サイトの蔵書検索にあれば、すべて閲覧できるというからすごい！

「とはいえ京都国際マンガミュージアムのように書架が並んで自由に選ぶことはできず、その都度、検索、取り寄せになるので必ずしも便利だとは言えません。

ですが、米沢さんからあずかった書籍は10年かけて登録を進めていて、『現代マンガ図書館』は27万冊のうち、19万冊まで整理



1階展示室では年3回、企画展を開催中

保存が進んでいます。引き続き整理を進めて、これからも広く読んでいただくためにサービス向上を目指します。いらっしゃる方々はマンガ好きな方はもちろんですが、近隣に出版社が多いこともあって、過去のマンガ週刊誌や月刊誌といった資料を探される編集者さんやライターさんも多いですね」

そのなかで、2021年3月から始まったのが「郵送複写サービス」。

「これはコロナ禍もあって、図書館に来ることができない方に向けて始めました。他県からの申し込みもあって、利用される方は多いですね。大学生による研究のための資料請求など、いろいろと役立てていただいています。

申し込む方はすでになにがほしいかわかっておられていて『この先生のこの作品がこの雑誌の何号にあると思うんですが、何ページありますか?』と具体的な問い合わせが多いんです。なので掲載ページを調べ、印刷の色なども確認しておしらせし、『カラーにしますか、モノクロにしますか』と意向を伺い、手配して発送しています」

実に細やか！ さらに、ここならではのサービスがある——なんと、コミックマーケットの見本誌閲覧だ。これは開館当初からのサービスで、コミケの意向でもあったとか。

「米沢さんの蔵書を寄贈・寄託いただいたこともあり、コミックマーケットさんとの関わりも深いんです。なのでコミケ初期の参加ガイドや発行した各種ペーパー、参加者と準備会の交流のための「COMIKEY PRESS」（コミケットプレス）も創刊号からあります。こういったものって誰かが意識して残していかないと失われてしまうものなんですよね。

また、同人誌に限ったことではありませんが、資料保存をする際には歴史的文化的価値として、著名な方の創作物のほうが残りやすい状況があります。けれど、見本誌はすべてが保存の対象となっています。市井しせいの、こんなにも多くの方々がこれほどまでに創作活動をされている……というとても貴重な資料がここにはあるんです。ただ、自分の創作物が残ってほしくない、見せたくない、という方もおられることはわかります。なので、その時代でバランスをうまく取りつつ、期間限定ではありますが広く見ていただける機会があることはすばらしいことだと思っんです」

そのシステムは実にシンプル。コミケ開催時に全館から集めた参加サークルの見本誌を、コミケの備品管理にも使われているコミパックに詰め、図書館へ移送。箱はサークルの配置ブロックごとに管理されていて、利用者はサークル名を伝え、司書がカタログから配置場所を探し、該当の箱から取り出し閲覧する、というもの。

「すごくいいな、と思うのは、すべてが同じ扱い、というところですよ。一般的な図書館は、保存場所のことを考えると、資料をなんでも取っておくというのは実はなかなか難しいことなんです。どうしても取捨選択していかざるを得ない。そうすると、利用頻度や市場での価値などが判断の手がかりになるのですが、果たしてそれが将来にわたって同じ価値なのか、見落としてしまうものがあるのではないかと、悩ましいところです。なので、全部を取っておいて見ることができるとは貴重だと思っんです」

語るとおり、これらの見本誌は一定期間の公開が終わると、コミケ所有の見本誌倉庫に運ばれ、丸ごと保管されている(第4章「見本誌のゆくえ」参照)。



出版社別、雑誌別に整理された書架が並ぶ

「一方で、米沢さん所有の同人誌はタイトルやサークル名を入力し、当館の蔵書としてデータを登録し公開しているのですが、蔵書検索で調べていつでも見ていただくことができるんです。どんな資料を持っているかを明らかにして、求めがあれば利用してもらえ、それこそが当館の専門図書館としての役割だと思っています。コミケの見本誌は確実にあるのはわかっているけれど、今それをたどりにいくことが難しいと思うので、将来的にはデータベース化されて閲覧できる日がくるといいな、と夢見ています」

そんな自身にとって、大切にしていることは？

「……なんだろう……あまり特別なことはない気がしますが、図書館は収集・整理・保存、提供という手順を踏みますが、それらがなされることで、初めて活用してもらえる、ということとは意識しています。米沢さんはコレクションを、いつかみんなで見れる場所ができたらいね、と願っておられたそうなので、日々、書誌データを登録し、データベース化し、それをどう提供するのかを考



コミケの歴史を伝える数々の資料も
保管されている

えて、こつこつと手を動かしている。そのことが米沢さんや、まだ見ぬマンガ好きの方ともつながっているようでものすごく楽しいんです。

とくに当館は公共の図書館のようにふらっと立ち寄るのではなく、わざわざ会員になってお金を払うので明確な目的がある方が多い。そういう方々の熱量に応えるべく、唯一無二の図書館として、在り方を模索していけるのはすごく恵まれているな、と感じています」

自身も同人誌のレビューを書き、同人活動を続ける三崎さんにとって、コミックマーケットとはどんな存在だろう。

「私にとってのコミケは『ハレの日』です。これは米沢さんが言われていたことで、今も準備さんの広報などで言葉にされていますが、特別な『ハレ』の日があるから、日々を楽しく過ごせる、特別なきらめきをもっている場所です」

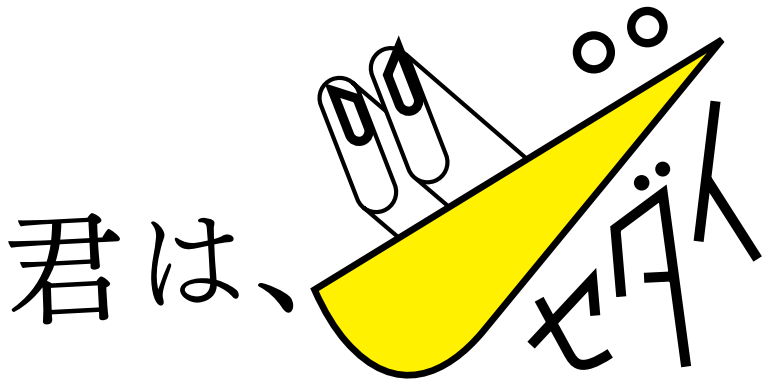
同人誌を文化ととらえ、丸ごと受けとめ残すべく、愛する姿がそこにはあった。



米沢嘉博記念図書館HP



米沢嘉博記念図書館公式ページより コミックマーケット見本誌の閲覧提供のご案内



君は、

ゼダイ

何と闘うか？

<https://ji-sedai.jp>

「ジセダイ」は、20代以下の若者に向けた、**行動機会提案サイト**です。読む→考える→行動する。このサイクルを、困難な時代にあっても前向きに自分の人生を切り開いていこうとする次世代の人間に向けて提供し続けます。

メインコンテンツ

ジセダイイベント

著者に会える、同世代と話せるイベントを毎月開催中！ 行動機会提案サイトの真骨頂です！

ジセダイ総研

若手専門家による、事実に基いた、論点の明確な読み物を。「議論の始点」を供給するシンクタンク設立！

星海社新書試し読み

既刊・新刊を含む、すべての星海社新書が試し読み可能！

マーカー部分をクリックして、「ジセダイ」をチェック!!!

行動せよ!!!